
「進行卵巣明細胞癌における系統的後腹膜リンパ節郭清の治療的意義についての後方視的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った婦人科悪性腫瘍の患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、国立研究開発法人国立がん研究センター研究倫理審査委員会の承認を得て、埼玉医科大学総合医療センター病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2014 年 1 月から 2020 年 12 月までに臨床病理学的にⅡB からⅣB 期の卵巣明細胞癌と診断され、初回腫瘍減量術で完全切除が行われた患者さんが対象となります。

2. 研究の目的

卵巣明細胞癌ⅡB からⅣB 期で初回手術時に肉眼的完全切除が行われた症例を対象とし、進行卵巣明細胞癌における系統的リンパ節郭清の予後への影響を検証します。この調査研究により、進行卵巣明細胞癌において系統的リンパ節郭清の治療的意義を検証することを目的として行います。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025 年 9 月 30 日

4. 利用または提供の開始予定日

2024 年 9 月 1 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

対象患者さんの下記診療情報を使用します。

血液検査の結果、手術に関する情報、進行期などの病気に関する情報、手術療法前後の患者さんの状態に関する情報、手術後の合併症などの発生状況、治療効果や経過

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である長井智則が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者

さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

この研究に参加された患者さんの、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科 石川 光也（研究代表者）
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井 智則

他、日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)婦人科腫瘍グループ参加施設及び協力施設。

最新の参加施設一覧はJCOGホームページ(https://jcog.jp/partner/group/mem_gcsg/)を参照してください。

4. 試料・情報の管理責任者

- 〈提供元機関〉 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文
- 〈提供先機関〉 国立がん研究センター中央病院 病院長 瀬戸 泰之

5. 試料・情報の提供方法等について

本研究で取り扱う患者さんの情報には、氏名、住所、ID 番号などの個人を特定しうる情報は含まれておりません。また、データの提供は特定の関係者以外がアクセス出来ない状態で行います。提供されたデータは、研究事務局で保管・管理します。対応表は各機関の研究責任者が保管・管理いたします。

今回の研究のために、新たな検査や情報収集は行いません。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〈問い合わせ等の連絡先〉

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科

相談窓口担当者：長井 智則

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3681（平日 9 時～17 時）（産婦人科医局・直通）

049-228-3595（平日夜間、休日）（時間外受付・直通）

大阪医科薬科大学

研究事務局：藤原 聡枝

住所：〒569-8686 大阪府高槻市大学町 2-7

電話：072-683-1221

○研究課題名：進行卵巣明細胞がんにおける系統的後腹膜リンパ節郭清の治療的意義についての後方視的検討

○研究代表者：国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科 石川 光也

○当施設での責任者：埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 教授 長井 智則